

外観



大きな庇が特徴の新校舎。夏と冬では太陽の角度が異なるため、夏は日射しを遮り、冬は日射しを取り込むことができる。教室の外のウッドデッキには、上履きのまま出ることができる。

多機能トイレ



車いす使用者がアプローチしやすい広さを確保した多機能トイレ。洗面器にはノンタッチで水の出し止めができるグースネックタイプの自動水栓を採用している。

女子トイレ 全体



男女トイレともいたずら防止のため、大便器ブースの間仕切りを天井まで立ち上げて個室感を高めている。洗面器には、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を取り付けている。

トイレ 入口



トイレの入口に設けたアール状の壁の通路側には、ベンチとホワイトボードを設置。休み時間には児童がコミュニケーションの場として活用している。

男子トイレ 全体



環境に配慮して、大便器は4.8L洗浄の節水便器、小便器はセンサー式の自動洗浄小便器を採用。洗面器には、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を取り付けている。

体育館 ランチルーム 手洗いコーナー



体育館の2Fには、学年違いの児童と一緒に給食を食べられるランチルームを設置。手洗いコーナーは、カラフルな壁と丸い鏡で楽しさを演出している。ランチルームは災害時の避難所としても活用される。

体育館 トイレサイン



羽黒小のキャラクターである「はぐろん」を使用したトイレサイン。地域にも開放するため、親しみが持てるデザインにしている。

体育館 男子トイレ 小便器コーナー



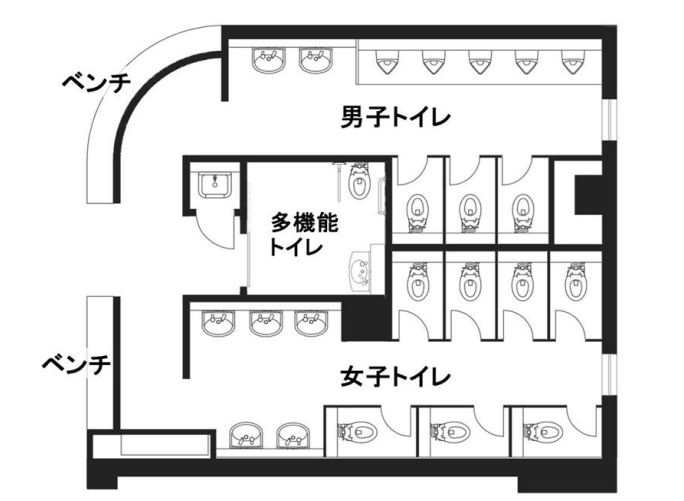
小便器の足元には、バスケットボールのコートをイメージしたデザインを施し、楽しさを演出している。小便器は、床の清掃がしやすい壁掛式を採用。

体育館 多機能トイレ



体育館は災害時の避難所や地域開放施設としても活用されるため、さまざまな利用者を想定して、オストメイト対応トイレバックや大型ベッド、ウォシュレットも完備している。

トイレ図面



建築概要

名 称	犬山市立羽黒小学校
所 在 地	愛知県犬山市大字羽黒字前川原67番地
施 主	愛知県犬山市
設 計	株式会社久米設計
施 工	校舎：東海興業株式会社 屋内運動場：株式会社 鴻池組
竣 工 年 月	2012年3月

水まわりの特長

<建物の特徴>
羽黒小学校は、地域開放や災害時の避難所としての活用を前提に旧校舎の改修や新校舎建設を計画。2011年度に旧校舎の改修、2012年3月に新校舎が竣工し、2013年3月に屋内運動場および給食棟が完成した。（2013年度中には、中庭・プール・外構の整備も予定されている）
環境面では、太陽光発電やLED照明を採用し、すべてのトイレの洗浄水に雨水・井水を活用するなど、さまざまな配慮を行っている。そのほか給食室には、被災時の早期復旧に備えてLPGを採用している。

<トイレの特長>
新校舎のトイレ入口に、ベンチとホワイトボードを設置。休み時間には児童がコミュニケーションの場として活用している。環境に配慮して、トイレには節水タイプの大便器やセンサー式の小便器を設置し、洗面器にはノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用。大便器ブースの間仕切りは、いたずら防止のために天井まで立ち上げ、個室感を高めている。また、地域にも開放している体育館の多機能トイレは、車いす使用者やオストメイトなど、さまざまな利用者を想定して、オストメイト対応トイレバックや大型ベッドを完備している。